

ボーリング(土質柱状図)

報告用紙

調査名・調査地点 有田地区小学校地質調査委託

標高 8.030

調査年月日 昭和27年2月21日-22日

ボーリング孔: No 2

孔内水位 1.10

調査担当者 諏訪貞二

標尺	層厚	深さ	土質記号	土質名	色調	現場観察記録	深さ	標準貫入試験			N値						試料採取	
								打撃回数	10cmごとの打撃回数	30cm	0	10	20	30	40	50		60
7.23	0.3	0.3		赤土	赤褐色	草根混入												
7.23	0.8	0.5		砂質粘土	褐色	埋土												
6.23	1.10		○	シルト	乳白色	φ50%~20%位のシルト	1.15	50%	50%									
6.23	1.7		○		乳褐色	20%位のシルト	2.15											
			○		乳褐色	含水量大 石灰質シルト	2.45	36	9	13	14							
			○		砂レキ	分解的粗砂	3.15	50/28	20	15	15/8							
3.23	4.80	4.00	○		砂レキ		3.43											
			○		暗褐色	φ20%位のシルト	4.15	26	6	9	11							
			○		砂レキ	含水量大	4.45											
1.23	6.80	2.00	○		砂レキ		5.15	21	6	4	11							
			+			花コウ岩風化 粘土分多し	5.45	28	8	8	12							
			+				6.15	17	5	5	7							
			+				7.45	20	5	6	9							
			+				8.15	21	5	7	9							
			+				9.45	21	6	7	8							
			+				10.15	21	6	7	8							
			+			φ20%位のシルト 粘土分多し	10.45	20	5	6	9							
			+				11.15	20	5	6	9							
			+				11.45	24	8	8	8							
			+				12.15	30	6	12	12							
			+				12.45	40	10	12	18							
			+				13.15	50	13	16	21							
			+				13.45	50/27	14	19	17/7							
			+			砂分多し 含水量少	14.15	50/25	14	19	17/5							
							14.45											
							15.15											
							15.45											
							16.15											
							16.45											
							17.15											
							17.40											

試料採取方法の記号
 ● シンクウォールサンプラー
 ○ 貫入試験用サンプラー
 ⊕ アイソトピックサンプラー
 × その他

・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があります。現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
 ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。